



BNP パリバグループ 2010 年度第 4 四半期決算報告書

プレスリリース
2011 年 2 月 17 日

2010 年度:

当グループの実体経済への積極的な資金供給による継続的な事業の成長

営業収益: 439 億ユーロ(前年度比 +9.2%)

フォルティスの統合成功がもたらす新たな局面

シナジー効果見積り額 12 億ユーロ (当初計画比 +33%)

経済環境の改善によるリスク費用の減少

リスク費用: -48 億ユーロ(前年度比 -42.6%)

ソルベンシーの有機的な強化を可能にする利益創出力

株主帰属純利益: 78 億ユーロ(前年度比+34.5%)

利益の 3 分の 2 を再投資

株主資本利益率: 12.3% (前年度比+1.5pt)

1 株当たり純利益: 6.33 ユーロ (前年度比 +21.7%)

コア Tier 1 比率: 9.2% (前年度末比 +120bp)

Tier 1 比率: 11.4% (前年度末比 +130bp)

経済サイクルを通しての 1 株当たり株主資本の堅実な成長

1 株当たり株主資本: 55.5 ユーロ (前年度比 +9.0%、2006 年度比 +29.4%)

雇用への多大な貢献

フランスで 3900 名、ベルギーで 1800 名、イタリアで 700 名の新規雇用
全世界で合計 2 万 4000 名の新規雇用

2010 年度第 4 四半期:

継続的な事業の成長

事業部門からの収益: 102 億ユーロ(前年同期比 +7.9%)

全事業部門において増益を達成

株主帰属純利益: 15 億ユーロ(+13.6%)



2011年2月16日に、BNPパリバ取締役会が開催され、ミッシェル・ペブロー会長が議長を務める中、当グループの2010年度第4四半期の業績が検討され、2010年度の決算が承認されました。

株主帰属純利益 78 億ユーロ

BNP パリバのビジネスモデルが強固なものであることを実証

実体経済への積極的な資金供給、および、当グループを新たな局面へともたらしたフォルティス統合の成功により、BNP パリバの今年度の株主帰属純利益は 78 億 4300 万ユーロとなり、前年度比で 34.5%増加しました。

2010年度、新たな連結範囲を採用した初年度として、当グループの営業収益は、438億8000万ユーロとなり、前年度比9.2%の増加となりました（連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと0.1%減）。営業費用は265億1700万ユーロ（13.6%増）となりました（連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと3.3%増）。その結果、営業総利益は173億6300万ユーロ（3.0%増）とほぼ横ばいとなりました（連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと5.1%減）。経済環境の好転によるリスク費用の大幅な減少（48億200万ユーロ、42.6%減。連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと50.0%減）により、税引前利益は、130億2000万ユーロと44.7%増加しました（連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと36.5%増）。各事業部門で税引前利益が増加し、特にリテール・バンキング事業部門では、大幅な収益回復により、当事業部門の収益貢献バランスの回復に寄与しました。

全ての地域と業務部門における各チームの貢献により、BNPパリバ・フォルティス及びBGL BNPパリバ傘下各社の当グループへの統合が成功し、その結果2012年のシナジー効果予想額は9億ユーロから12億ユーロへと増加する一方、関連事業再編費用は、13億ユーロから16億5000万ユーロへと見直されました。

株主資本利益率は、2009年度の10.8%に対し、12.3%となりました。

1株当たり純利益は 6.3 ユーロとなり、前年度比 21.7%の増加となりました。1株当たり株主資本は 55.5 ユーロとなり、前年度比 9.0%の増加となりました。これを世界的な金融危機の前年にあたる2006年と比較すると 29.4%の増加となり、このことから BNP パリバのビジネスモデルが、経済サイクルを通して堅実な株主資本の増加をもたらしたことが実証されました。

取締役会は 2.1 ユーロの現金配当（33.4%の配当性向）を提案する予定です。この利益処分により、利益の3分の2を当社へ再投資することが可能になります。

2010年度第4四半期で、当グループの営業収益は 103 億 2000 万ユーロとなり、前年同期比で 2.6%増加しました。株主帰属純利益は 15 億 5000 万ユーロとなり、前年同期比 13.6%増加しました。

このような中、事業活動に関連しない経常外項目として 2 件で純額 3 億 5800 万ユーロの費用を一括計上しました（p11「コーポレート・センター」参照）。

事業部門単独では、営業収益は前年同期比 7.9%増加し、営業総利益は 7.5%増加しました。またリスク費用の 34.5%の減少により、税引前利益は 57.5%と大幅に増加しました。

全ての業務部門における好調な業績

リテール・バンキング事業

2010年度のリテール・バンキング事業の営業収益の56%は、当事業の支店ネットワークと専門金融サービス業務からもたらされました。

フランス国内リテール・バンキング (FRB)

2010年度通期で、FRBチームはサービス提供の強化に専念し、案件ごとに当グループのあらゆる業務部門の専門性を最大限に活用して、個人、中小企業、法人等の顧客を支援しました。これは、超低金利を背景とする住宅ローン残高の大幅増加（前年度比8.1%増*）が牽引した融資残高の増加（前年度比3.6%増*）に表れています。法人の需要は総じて極めて低い水準であったものの（残高：前年度比1.5%減*）、中小企業や小規模企業をターゲットとする取組みが功を奏し、年度末の資金需要を喚起しました（前年度末比3.5%増）。

預金残高は、要求払預金の好調な増加（9.5%増*）による預金構成の影響が有利に働き、前年度比平均1.9%*増加しました。年度末には、MMMFの資金が普通預金や定期預金へ回帰し始めました。

保険への資産流入額は、超低金利にもかかわらず、前年度末比でさらに8.5%上昇しました。

好調な販売活動により、営業収益¹は、68億7700万ユーロとなり、連結範囲変更による影響を除くと3.6%の増加となりました。純利息収入は、預金残高の増加および預金構成の改善を受けて3.3%増加しました。また手数料収入は、一般世帯の金融市場からの回避志向が引き続き見られるものの、合計19万件的純新規当座預金口座開設を伴う個人顧客の新規獲得を受けて、4.0%の増加となりました。

営業費用¹は、2.2%*とわずかな増加にとどまり、45億4100万ユーロとなり、2010年度の目標値を上回ったものの、当事業部門に1.4ポイント*のジョーズ効果をもたらしました。営業収益対コスト比率は、66.0%と、さらに0.9ポイント*改善しました。この堅実な業績により、営業総利益¹は23億3600万ユーロと、6.3%*上昇しました。リスク費用¹は、融資残高に対し35ベースポイントとなり、前年度（41bp）と比較して低下を示し始めました。

フランス国内プライベート・バンキング事業の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業に配分した後の、FRBの税引前利益は、17億3500万ユーロとなり、前年度比11.6%の大幅な増加となりました。

2010年度第4四半期で、FRBの営業収益¹は、16億8300万ユーロとなり、前年同期比2.3%増加しました。これらは預金（8.8%増）および融資（4.6%増）の好調な増加によるものです。営業総利益¹は、5億500万ユーロとなり、2.4%増加しました。好調な業績に加え、リスク費用¹が10.3%減少したことから、フランス国内プライベート・バンキング事業の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業に配分した後の、当該期間のFRBの税引前利益は3億3700万ユーロとなり、8.4%増加しました。

* 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

¹ PEL/CELの影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む。

BNLバンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

2010年度通期で、イタリア経済の緩やかな回復の中、BNL bcは、商品提供力の強化ならびに資産運用および証券管理事業（貯蓄）とCIB事業（資金管理、国際貿易金融およびストラクチャード・ファイナンス）とのクロス・セリング拡大のためのアクションプランを引き続き実行しました。融資残高はわずかに増加（0.3%増*）しており、これは法人顧客に対する設備投資向け融資の増加（1.0%増*）を受けたものです。その一方で、個人向け融資（0.5%減*）については、住宅ローンの条件変更要請の中にあっても、利鞘確保のための確固たる努力の効果が表れています。預金は2.7%増加*しました。貯蓄は、生命保険と投資信託の更新を受けて、引き続き増加しています。

営業収益²は、30億6000万ユーロとなり、前年度比1.9%増加しました（連結範囲変更による影響を除くと1.5%増）。これは貯蓄とフロー商品のクロス・セリングの大幅な拡大によって、手数料収入が大幅に増加（8.5%増*）したことに支えられています。しかしながら、純利息収入は、融資利鞘が縮小したことに加え、融資残高がわずかな増加にとどまったことから減少しました（2.0%減*）。

2010年には54の支店が新たに開設され、支店の改築とネットワーク構築プログラムもほぼ完了しました。一方で、営業費用²は、バンカUCBとフォルティスの統合によるシナジー効果が発揮された影響などから0.7%*の減少となりました。この好調な業績によって、営業収益対コスト比率が1.3ポイント*改善して58.8%となり、BNL bcでは2.2ポイント*のジョーズ効果もたらされました。営業総利益²は、12億6200万ユーロとなり、前年度比4.8%*増加しました。

イタリアの経済環境は、リスク費用²に再び重くのしかかり、8億1700万ユーロ、107ベースポイントと、前年度の91ベースポイントに対し、21.1%増加しました。ただしそのような状況にもかかわらず、2010年を通してこの水準を維持することができました。

その結果、イタリア国内プライベート・バンキング部門の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業に配分した後のBNL bcの税引前利益は、4億3200万ユーロとなり、前年度比17.2%の減少*となりました。

2010年度第4四半期で、営業収益²は、全分野、特に貯蓄、プライベート・バンキング、資金管理、ストラクチャード・ファイナンス分野での手数料収入が好調に増加し、0.8%*の増加となりました。営業費用²はシナジー効果の影響を受け、0.7%*減少しました。このような好調な業績に加え、リスク費用がわずかに減少（前年同期の109ベースポイントに対し融資残高の105ベースポイント）したことから、イタリア国内プライベート・バンキング事業による純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業に配分した後のBNL bcの税引前利益は9100万ユーロとなり、前年同期比16.7%の増加となりました。

BeLux リテール・バンキング(BeLux RB)

2010年度通期で、ベルギーおよびルクセンブルグにおける新しいリテール・バンキング事業である、BeLuxリテール・バンキングは、販売促進を強化し、新たなフランチャイズの利益を獲得しました。また、顧客満足度の向上や、シンジケート・ローンや債券発行、買収ファイナンスなどにおける、CIB事業部門による民間部門と公共部門とのクロス・セリングの強化を図るために引き続き努力してきました。

² イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む。

融資残高は、特にベルギーやルクセンブルグ国内の住宅ローンの急速な増加、さらに中小企業向け融資の需要増加により、前年度比2.2%*増加しました。一方で法人顧客に関しては、顧客が資本市場からの資金調達を選んだことから、資金需要は依然として限定的でした。預金残高は、要求払預金（7.5%増*）や普通預金への順調な資金流入と定期預金口座からの流出の結果、978億ユーロと11.4%増加*しました。ベルギー国内プライベート・バンキング事業の運用資産は、前年度比13.2%増加しました。

営業収益³は取引量の増加と利鞘の維持により、33億7700万ユーロと前年度比6.6%*上昇しました。

事業計画を遂行した結果としてコストの最適化が寄与し、営業費用³は前年度比2.5%*の増加にとどまり、今年度のBeluxリテール・バンキング事業の営業総利益³は、9億6800万ユーロと18.1%増加*しました。また、2010年の目標値を上回る4.1ポイントのジョーズ効果が得られました。今年度の営業収益対コスト比率は2.8ポイント*改善し、71.3%となりました。

2億1900万ユーロ、すなわち融資残高の27ベースポイントのリスク費用³は、前年度比半減*まで低減しました。

ベルギー国内プライベート・バンキング事業による純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業部門に配分した後のBeLuxリテール・バンキングの税引前利益は6億8800万ユーロとなりました。これは前年度の倍*の水準にあたります。

2010年度第4四半期で、営業収益³は、CIB事業との中規模企業に対するクロス・セリングの成功、および融資（4.7%増）と預金（11.8%増）の好調な増加により、前年同期比5.1%増加しました。事業拡張計画の継続の影響を含めた営業費用³の増加が3.4%と限定的だったことから、営業総利益³は10.6%増加しました。このような好調な業績に加え、リスク費用が前年同期の融資残高の37ベースポイントから今期は32ベースポイントへと減少したことから、ベルギー国内プライベート・バンキング事業による純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業部門に配分した後のBeLuxリテール・バンキングの税引前利益は、1億1900万ユーロとなり、前年同期比29.3%の増加となりました。

欧州・地中海沿岸諸国

2010年度通期で、欧州・地中海沿岸諸国においては、ウクライナでの事業再構築を継続するとともに、その他の国では引続き新規顧客の獲得（合計60万件の増加）を推進しました。ウクライナ以外の地域における融資残高は前年度比平均2.6%*増加しました。国際貿易金融と法人向けの資金管理事業が好調に成長しています。

営業収益は18億7800万ユーロとなりました。ウクライナでの大幅な残高の減少（24.8%減*）およびウクライナ以外の地域での1.8%*の増加の結果、前年度比わずかに減少（2.9%減*）しました。

営業費用は14億100万ユーロとなり、3.3%*増加しました。

リスク費用は、ウクライナを初めとする主要国での改善により149ベースポイントとなり、前年度の355ベースポイントから大幅に減少しました。その結果、目標の範囲内に収めたことで、欧州・地中海沿岸諸国においては、収支を損益分岐点まで回復させることができました。税引前利益は前年度の2億400万ユーロの損失に対し、1億400万ユーロの利益を計上しました。

³ ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む。

2010年度第4四半期で、営業収益は前年同期比1%増加*し、4億9800万ユーロとなりました（ウクライナを除くと、5.4%増*）。営業費用の増加（5.8%*）は、34の支店の新規開設と、モロッコおよびウクライナにおける当グループのマルチチャネル・プログラムの展開によるものです。

リスク費用が1億2200万ユーロと、前年同期比半減したことから、税引前利益は、前年同期の9100万ユーロの損失から、1300万ユーロとわずかながら利益に転じました。

バンクウェスト

2010年度通期で、バンクウェストでは、コア預金が大幅かつ継続して増加し、前年度比平均9.7%の増加となりました。比較的件数が少なく、コストの高い大口譲渡性預金（CD）を含めた場合、預金の増加は合計で2.9%*となりました。融資残高は、前年度比平均4.4%*の減少となりましたが、年末には、経済環境の回復とマーケティング費用支出の増加を受けて、消費者融資と法人融資が持ち直しを見せました。純資金利鞘は、15ベーシスポイントまで拡大しました。

このような背景の中、バンクウェストの営業収益は前年度比5.6%増の22億8400万ユーロとなりました（連結範囲変更による影響を除くと1.0%増。ドルはユーロに対し平均で5%上昇）。

営業費用は7.1%増加しました（連結範囲変更および為替レート変動の影響を除くと2.4%増）。営業収益対コスト比率は54%から54.7%に上昇しましたが、依然として高い競争力を維持しています。

その結果、営業総利益は3.9%増の10億3400万ユーロとなりました（連結範囲変更および為替レート変動の影響を除くと0.7%減）。

リスク費用については、好調な経済環境とポートフォリオの改善の恩恵を受けました。前年度の310ベーシスポイントから、今年度は119ベーシスポイントへと低下しました。資産担保証券のポートフォリオに関連した資産は、非常に少額となりました（前年度末の7億5900万ユーロに対し、今年度末は7800万ユーロ）。平均延滞債権比率は、2009年度第4四半期（3.01%）からほぼ横ばいで推移しており、今第4四半期から減少に転じました（2.96%）。

その結果、前年度の税引前損失1億9700万ユーロに対し、今年度は5億7300万ユーロの税引前利益を計上しました。

2010年度第4四半期で、営業収益は5億5100万ユーロとなり、前年同期比、2.2%増加*しました。マーケティング費用支出の回復と新たな規制環境によって、営業費用が大幅に増加（7.5%増*）したものの、リスク費用が79ベーシスポイントまで低下し（前年同期は310ベーシスポイント）、税引前利益は1億5600万ユーロとなりました（前年同期は4900万ユーロの損失）。

パーソナル・ファイナンス

2010年度通期で、パーソナル・ファイナンス部門は、事業および規制環境が変化する中、2009年に開始したビジネスモデル、成長戦略および産業化戦略を採用する取組みを引き続き行ってきました。コメルツ銀行とのパートナーシップを確立し、コメルツ銀行がドイツ国内に持つ1200の支店と1100万人の顧客へのアクセスを可能にしました。フランスにおいても、BPCEとのパートナーシップを築くことによって共通の消費者融資管理用ITプラットフォームを構築しました。また、イタリアではフィンドメスティック統合計画を実施しました。

パーソナル・ファイナンス部門の営業収益は、前年度比 16.4%増の 50 億 5000 万ユーロとなりました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除くと、5.1%の増加となり、低リスクかつ収益性が高いフランス、イタリア、ドイツ、ブラジルおよびトルコなどでの好調な業績に基づく融資残高の増加（4.0%増*）が寄与しました。

営業費用は 3.0%増加*したものの、2010 年度の目標通り、営業総利益は 7.1%増*の 27 億 2600 万ユーロを達成し、ジョーズ効果 2.1 ポイント*をもたらしました。営業収益対コスト比率は 46.0%となり、1 ポイント*の改善となりました。

リスク費用は 19 億 2100 万ユーロ（融資残高の 232 ベーシスポイント）となり、多くの国で減少に転じ、全体では 11.3%*の減少となりました。

税引前利益は 8 億 9300 万ユーロとなり、前年度水準のほぼ 2 倍となりました。

2010 年度第 4 四半期で、営業収益は前年同期比 5.0%増*となりました。融資残高は低リスクかつ高い収益性を維持しつつ 5.8%増加*しました。営業費用の抑制（0.1%増*）により当業務部門の営業総利益は 9.6%*増加しました。リスク費用は 4 億 4000 万ユーロで顧客融資残高の 210 ベーシスポイントとなり、前年同期比で 22.1%の減少*となりました。税引前利益は、前年同期の 5900 万ユーロに対し、2 億 7200 万ユーロとなりました。

エクイップメント・ソリューション

2010 年度通期で、エクイップメント・ソリューションの営業収益は 15 億 600 万ユーロと、前年度比 25.5%の大幅増加となりました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除いた場合は、中古車両価格の回復や自動車ローンの増加（4.0%増）、リース事業の好調によって、16.9%の増加となりました。好調な事業と営業費用管理（3.8%増*）に助けられ、当業務部門の営業総利益は大幅に増加（36.8%増*）しました。この業績とリスク費用の大幅な減少（22.0%減*）により、エクイップメント・ソリューション部門は、前年度水準の 3 倍以上となる 4 億 700 万ユーロの税引前利益を計上しました。

2010 年度第 4 四半期で、当業務部門の営業収益は、前年同期比横ばい（0.0%）となり、営業費用は 8.1%の増加となりました。リスク費用の 24.2%の減少により、税引前利益は前年同期比 6.1%増の 8700 万ユーロとなりました。

リテール・バンキング事業 2011 年度アクションプラン

4 つの国内ネットワーク（フランス、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルク）において、当グループは、引き続き実体経済への貢献、一般世帯と企業の資金需要のサポートを行っていきます。

従って、個人顧客に関しては、支店ネットワークは技術革新の取組みを続け、（特にベルギーにおいて）プライベート・バンキングモデルの展開を進め、また、保険商品の販売の拡大を行っていきます。イタリアにおいては、BNL bc が支店ネットワークの刷新を完了し、ターゲットとなる法人に対する商品提案力の強化を図っていきます。

法人および中小企業に関しては、各ネットワークは商品提供力の強化の取組みならびに資産運用および証券管理事業と CIB 事業（ストラクチャード・ファイナンス、外国為替およびフィクスト・インカム商品）とのクロス・セリングの強化を図り、資金管理サービスの展開やフランス国内での 30 程度

の中小企業センターの新規開設、イタリア国内での中規模企業との親密な関係構築を引き続き図っていきます。

その他のリテール・バンキングネットワークにおいては、フランチャイズの収益性改善を目指す事業展開プランの導入に重点を置いていきます。

バンクウェストについては、黒字転換から1年が経過したことから、商品提供やディストリビューション・チャンネルに関するテクノロジーへの投資を含む事業展開計画を実施し、クロス・セリング増加や顧客獲得の促進を図っていきます。

欧州・地中海沿岸諸国では、ネットワーク全体を通じた統合モデルを引き続き展開することに加え、ポーランドでの事業展開と、2010年を事業再構築に費やしたウクライナにおいて、より柔軟な事業コスト基盤の構築に注力していきます。

トルコにおいては、TEBとフォルティス銀行トルコ（600支店、預金量56億ユーロおよび融資残高74億ユーロ）の統合にかかる法的手続きが2011年2月14日に完了し、国内第9位の銀行が誕生しました。BNPパリバは被統合会社との共同支配を維持することから、当グループのソルベンシーにはほとんど影響はありません。当グループによる直接株式投資により、新TEBは67%の比例連結対象となりました。事業計画はBNPパリバの統合モデルの展開に基づいており、2013年までのシナジー効果を8600万ユーロと想定し、その内訳はリテール・バンキングで75%、CIBで22%としています。事業再構築コストは、向こう3年間で1億2300万ユーロを想定しています。

最後に、パーソナル・ファイナンス部門は先進国および新興国の力強い成長の可能性を2011年も活用していきます。

フランスにおいては、セテレム銀行の営業開始によって、直接、顧客に対応する新たなマルチチャンネル・マーケティングモデルを通して、貯蓄ソリューション販売の展開を可能にします。イタリアにおいては、当業務部門はディファード・デビットカードかクレジットカードの選択が可能なフィンドメスティックのカルト・ノバのマーケティングを引き続き進めていきます。ベルギーにおいては、BNPパリバ・フォルティスのネットワークを通じた、アルファクレジットの商品の販売を加速していきます。ドイツにおけるパーソナル・ファイナンス部門は、コメルツ銀行とのパートナーシップに関連した大幅な取引量増加の恩恵を活用していきます。

西ヨーロッパ以外の市場では、ポーランド、ウクライナ、北アフリカおよび中国などにおいて、当グループのネットワーク内での消費者向け融資展開のモデルである、PFインサイドを展開することによって成長の可能性を探っていきます。トルコにおいては自動車ローン事業における先般の合意および新たなパートナーシップ確立の一環としてTEB CTLMを傘下においたことが、成長にも寄与することでしょう。

資産運用および証券管理事業

2010年度通期で、資産運用および証券管理事業の純資産流出額は33億ユーロとなりました。保険（84億ユーロ増）、プライベート・バンキング事業（困難な環境にもかかわらず32億ユーロ増）および個人投資家（14億ユーロ増）からの資産流入は好調でしたが、資産運用の176億ユーロの資産流出により相殺されました。その主な要因は、マネー・マーケット・ファンド（127億ユーロ減）か

らの流出によるものでした。好調な運用成績と為替の影響が相まって、これらの資産移動にもかかわらず、運用資産⁴は前年度末比で7.5%増の9010億ユーロとなりました。

営業収益は、前年度比14.9%増の61億6300万ユーロとなりました。個人顧客のリスク回避志向にもかかわらず、プライベート・バンキングおよび資産運用事業の好調維持と、フランス国内（8.4%増）および国外（13.5%増）の保険部門の総保険料収入の大幅増加、ならびに取引量の減少を補って余りあるカストディ資産および受託資産の増加など、証券管理事業の下半期における効果的な事業努力により、運用資産は、連結範囲変更および為替レート変動の影響を除くと6.8%の増加となりました。

営業費用は、保険部門および証券管理事業の事業拡張支援のための投資が引き続き行われていることから3.7%増*の43億6500万ユーロとなりました。

国内市場におけるプライベート・バンキング事業の利益の3分の1を含めた後の税引前利益は、28.5%増*の19億8200万ユーロとなりました。全業務部門の好調な業績に加え、保険事業の持分法適用会社からの多大な寄与や組織再編に伴う一部事業の売却が利益に貢献しました。

2010年度第4四半期で、資産運用および証券管理事業の純資産流入額は14億ユーロとなりました。当事業の営業収益は、前年同期比で13.8%増の16億5100万ユーロでした。富裕層向け資産運用業務部門からの営業収益は、運用資産⁴の増加（6.7%増）や不動産関連サービスの好調な業績により、8.4%の増加となりました。保険部門の営業収益の大幅な増加（26.7%増）は運用資産の増加（11.9%増）と保障保険商品の総保険料収入の大幅増加によるものです。証券管理業務部門からの営業収益は、取引量の増加とカストディ資産および受託資産の増加により、14%増となりました。

この好調な営業収益により、事業展開を持続するための投資のために営業費用が11.3%増加しているにもかかわらず、各業務部門にジョーズ効果をもたらしました。当事業部門の税引前利益は、保険部門の持分法適用会社による寄与が大幅に増加したことなどから、前年同期比で40.6%増の5億4700万ユーロとなりました。

2011年度アクションプラン

2011年度、当事業は、商品提供力強化のために、プライベート・バンキング内のパートナーシップモデルを引き続き展開し、さらにはCIB事業との協力体制を十分に生かすことにより、リテール・バンキング事業とのパートナーシップを最大限に活用するよう努めます。

当事業は、引き続き新規のプライベート・バンキング顧客および法人顧客を獲得するための取組みを行っていきます。

最後に、資産運用および証券管理事業はアジア・太平洋地域への事業拡大を引き続き行っていきます。具体的には既存の資産運用業務部門の組織の活用、香港およびシンガポールの5大プライベート・バンクにおける地位向上、インド、日本、韓国および台湾の保険業務における継続的な取組みと当該地域の証券管理業務部門のプレゼンスの拡大に努めます。

⁴運用資産および外部顧客への助言

コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業

2010年度通期で、CIB事業部門の営業収益は前年度比11.1%減の119億9800万ユーロとなりました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除くと、例外的に高水準だった前年度と比較し18.8%の減少となり、各業務部門間のバランスのとれた収益貢献が結果に表れています。

資本市場業務の営業収益は、特に高水準であった（上半期のフィクスト・インカム業務が例外的に高水準だった）前年度に対し30.7%減*の76億3000万ユーロとなりました。

フィクスト・インカム業務の営業収益は、前年度の80億100万ユーロに対し、54億800万ユーロにとどまりました。いくつかのヨーロッパの国のソブリン債務に対する投資家の懸念から、プライマリー市場において2度の収縮が生じ、困難な市場環境となったにもかかわらず、対顧客ビジネスの水準は維持され、当業務の全セグメント、とりわけ機関投資家における地位が強化されました。その結果、ユーロ建て債券発行におけるNo.1の地位を強固なものとし、顧客に対しプロジェクト資金の資本市場からの調達を支援しています。ボラティリティの高い市場環境の中で法人のリスクヘッジに対する高いニーズも、外国為替やフィクスト・インカムのデリバティブ商品の持続的なビジネスを後押ししました。

株式およびアドバイザリー業務の営業収益は、第2四半期に熱狂的な市場を背景に高コストでの顧客ポジションのヘッジを行ったにもかかわらず、前年度比15.7%増の22億2200万ユーロとなりました。ヨーロッパの主要顧客のためのテーラーメイド型ソリューション、機関投資家のためのボラティリティ・リスク限定型の仕組商品の成功、さらには当グループ内外の銀行および保険ネットワークを通じて販売された、複数資産インデックス連動の元本確保型仕組商品発売の成功により、業績は徐々に回復しました。

ファイナンス事業からの営業収益は、エネルギーおよびコモディティ・ファイナンス等のストラクチャード・ファイナンスが好調だったことから、前年度比16.3%*の大幅な増加となる43億6800万ユーロとなりました。当業務の当該分野におけるグローバル・リーダーとしての地位は、BNPパリバが世界経済への資金供給に多大な貢献を果たすうえでの支えとなりました。

当部門の営業費用は、フィクスト・インカム業務およびストラクチャード・ファイナンス業務部門のアジア地区および米国での組織強化にもかかわらず、前年度比4.5%減*の64億4200万ユーロとなりました。

営業収益対コスト比率は53.7%であり、依然として銀行業界最良の水準を維持しています。

当事業部門のリスク費用は、前年度の24億7300万ユーロに対し大幅減少し、3億1400万ユーロとなりました。この減少は、特にファイナンス事業において顕著に見られ、前年度に98ベースポイントだったリスク費用は、経済回復によって生じた戻入れによって新たな引当金が相殺されたため、今年度はゼロになりました。

CIB事業の税引前利益は、前年度より不利な市場環境にもかかわらず、2.5%増*の53億500万ユーロとなりました。

こうした好業績は、ソブリン債務危機のような大きな市場へのショックへの対処能力に加え、CIBフランチャイズの卓越性、多様性のある顧客本位のビジネスモデルが強固なものであることを今年度も示しました。市場リスクは同業他社に対し低い水準を維持しており、業務の効率性は業界最良の水準

となっています。ファイナンス業務は、危機前の水準に比べ、税引前利益の 50%となる貢献を果たしています。

この業績は、前年度比で 8.2%資本配賦を減少させる中で、特に資本市場業務においては 14.7%減となる中で達成されました。

2010 年度第 4 四半期で、営業収益は前年同期比 10.2%増の 26 億 8800 万ユーロとなりました。これは前四半期比では 6.4%の下落となっています。ソブリン債務に関する投資家の懸念にもかかわらず、顧客事業の持続的展開により、資本市場業務の営業収益は引き続き好調に推移し、16 億 5200 万ユーロとなりました。ファイナンス業務からの営業収益は、ストラクチャード・ファイナンスが極めて好調だったこともあり、10 億 3600 万ユーロとなりました。

営業費用は、前年同期比で 15.0%増の 15 億 5200 万ユーロとなりましたが、前四半期比ではほぼ横ばい (0.4%増) となりました。

リスク費用は大幅に減少 (61.1%減) し、9100 万ユーロとなりました。ファイナンス業務におけるリスク費用は、前年同期の 36 ベースポイントに対し、12 ベースポイントとなりました。

税引前利益は、前年同期比で 23.1%増の 10 億 7100 万ユーロとなりました。

2011 年アクションプラン

ヨーロッパにおいて、CIB 事業は引き続き大企業を対象に、資金供給を継続するとともに市場リスクをカバーし、さらに M&A や株主割当発行に関する、より戦略的なアドバイザリーサービスの提供を行っていきます。他に例のない全ヨーロッパ規模のフロー商品の提供 (コーポレート & トランザクション・バンキング・ヨーロッパすなわち CTBE) についても、積極的なマーケティングを顧客に対して行っていきます。

米国において、CIB 事業は大規模発行体や機関投資家のニーズに応えるためのデット・プラットフォームなど、組織の部分的改編を行い、さらにはエネルギーおよびコモディティ・フランチャイズを活用して、M&A サービスを展開していきます。

アジア地域において、CIB 事業は当グループのグローバル・フランチャイズを生かして、地域の高い成長性を活用するために、幅広い顧客に対するソリューション提供力を強化していきます。CIB 事業は中国、インドおよび韓国において顧客基盤の拡大と新たな人材の投入を図ります。

コーポレート・センター

2010 年度第 4 四半期で、「コーポレート・センター」の営業収益に関しては、2 件の経常外損益が計上されました。

- 損益計算書において、アクサに対する株式投資に関し、5 億 3400 万ユーロの減損が計上されました。金融危機以来、ボラティリティが高い株式市場において、アクサの株価がしばしば簿価を割り込みました。会計ルールに従い慎重に検討した結果、当グループのアクサに対する長期投資は年末時点の株価 (12.45 ユーロ) に基づいて評価されています。2011 年 1 月 31 日に株価は 15.46 ユーロま

で回復したため、アクサへの出資はその時点で 3 億 6400 万ユーロの未実現利益を生じさせています。

- 早期償還といくつかの売却の結果、フォルティス買収に関する買収価格会計（PPA）の公正価値への調整については、1 億 7600 万ユーロの加速償却を実施しました。

これらの合計純額 3 億 5800 万ユーロの一括での損失処理のため、営業収益は前年同期の 5 億 5800 万ユーロ（このうち 2 億ユーロ以上が特別利益によるものでした）に対し、7100 万ユーロとなりました。

事業再構築コストは、前年同期の 1 億 1500 万ユーロから大幅に増加し 2 億 8100 万ユーロとなりました。その他の営業費用に関しても、ベルギーの預金保険基金への多額の拠出のため、6200 万ユーロから 1 億 6100 万ユーロに増加しました。

全体として、コーポレート・センターの今期の税引前損益は 3 億 3800 万ユーロの損失となりました（前年同期は 3 億 8600 万ユーロの利益）。

2010 年度通期で、コーポレート・センターの営業収益は、前年度が例外的な損失要因（自社負債、投資の減損処理）において 10 億 5000 万ユーロの損失を計上したために 6 億 2900 万ユーロの利益にとどまったのに対し、今年度は 21 億 1600 万ユーロとなりました。2010 年においても、アクサへの投資による例外的な減損（5 億 3400 万ユーロの損失）がありましたが、例外的なフォルティス買収にかかる PPA に沿った公正価値に対する調整額（年間で 6 億 3000 万ユーロの利益）およびスプレッド拡大を背景にした負債の再評価益（9500 万ユーロの利益）によって、補って余りある結果となりました。

営業費用は、前年度の 5 億 1600 万ユーロに対し、事業再構築費用を除いて 6 億 1100 万ユーロとなりました。その差額はフランスとベルギーで求められた預金保険基金への一括拠出によるものです。

事業再構築費用は、2009 年から 2010 年にかけて 1 億 7300 万ユーロから 7 億 8000 万ユーロに増加しました。2011 年にも約 6 億ユーロが計上される予定です。

コーポレート・センターの税引前利益は、前年度の 3 億 5900 万ユーロに対し 9 億 2600 万ユーロになりました。

*
* *

高いソルベンシーおよび多様な資金調達源へのアクセス

BNP パリバは、多様な資金調達源への幅広いアクセスを有します。

ユーロ圏の中心地でのリテール・バンキングにおける地位がもたらす、安定した大きな預金基盤（5530 億ユーロ）、中央銀行適格担保となる預託金（1600 億ユーロが利用可能）に加え、極めて質の高い担保でカバード債を発行できる能力など、これらのすべてが、BNP パリバの構造的な強みであるといえます。

BNP パリバは、同業他社と比較し、中長期債を主要金融市場（EUR、USD、AUD、JPY）において、極めて有利なスプレッドおよび償還期間で発行することができます。2011年に計画されている合計350億ユーロのプログラムのうち、2011年1月には既に平均償還期間8年で70億ユーロの中長期債を発行しました。

多額の利益剰余金とリスク加重資産（米ドルの上昇にもかかわらず、前年度末比200億ユーロ減少し、6010億ユーロとなりました）の最適な管理により、当グループのソルベンシーは一層強化されました。主に有機的な株主資本の創出（80ベースポイント増）やリスク加重資産の減少（30ベースポイント増）などによって、コア Tier 1 比率は、前年度末の8.0%から、今年度末は9.2%となり、年間で120ベースポイント増強されました。

当グループの貸借対照表によると、総資産は、今年度末時点で、総計1兆9980億ユーロとなり、当期間でユーロに対してドルが上昇したにもかかわらず、前年度末の2兆580億ユーロからわずかな減少にとどまりました。この減少は、トレーディング資産とレポ取引の減少（300億ユーロ減）および中央銀行への融資（220億ユーロ減）の減少によるものです。売却可能資産は、2200億ユーロと大きな変動はありませんでした。その時価評価（1400万ユーロ減）も、簿価にはほとんど影響はありませんでした。

*
* *

以上の業績に対するコメントとして、ボードゥアン・プロ最高経営責任者は、次のように述べています。

「2010年、BNP パリバは、顧客のニーズに応じた多様かつ統合されたビジネスモデルの頑健性を実証しました。

当グループの全社員は、それぞれ個人、事業法人および機関投資家のお客様へのサポートに専心しています。リテール・バンキング事業の営業収益は大幅に回復し、資産運用および証券管理事業の営業収益も再び増加し、また CIB 事業は前年度同様、力強い貢献をもたらしました。当グループと BNP パリバ・フォルティスおよび BGL BNP パリバとの統合の成功により、2012年度末でのシナジー効果予想額が3分の1上方修正される結果をもたらしました。

新たな事業規模と基盤をもって、当グループは事業の多様性を活かし市場環境の規制変更への影響に適応するとともに、変化する世界における実体経済への資金供給の役割を引続き積極的に果たすことが可能となります。」

連結損益計算書

(単位：百万ユーロ)	4Q10	4Q09	4Q10/ 4Q09	3Q10	4Q10/ 3Q10	2010	2009	2010/ 2009
営業収益	10,320	10,058	+2.6%	10,856	-4.9%	43,880	40,191	+9.2%
営業費用および減価償却費	-6,887	-6,137	+12.2%	-6,620	+4.0%	-26,517	-23,340	+13.6%
営業総利益	3,433	3,921	-12.4%	4,236	-19.0%	17,363	16,851	+3.0%
リスク費用	-1,162	-1,898	-38.8%	-1,222	-4.9%	-4,802	-8,369	-42.6%
営業利益	2,271	2,023	+12.3%	3,014	-24.7%	12,561	8,482	+48.1%
関連会社損益	89	74	+20.3%	85	+4.7%	268	178	+50.6%
その他の営業外項目	-7	-2	n.s.	52	n.s.	191	340	-43.8%
営業外損益	82	72	+13.9%	137	-40.1%	459	518	-11.4%
税引前利益	2,353	2,095	+12.3%	3,151	-25.3%	13,020	9,000	+44.7%
法人税	-469	-574	-18.3%	-951	-50.7%	-3,856	-2,526	+52.7%
少数株主帰属純利益	-334	-156	n.s.	-295	+13.2%	-1,321	-642	n.s.
株主帰属純利益	1,550	1,365	+13.6%	1,905	-18.6%	7,843	5,832	+34.5%
営業収益対コスト比率						60.4%	58.1%	+2.3pt

BNP パリバの 2010 年度第 4 四半期の財務開示物は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーションに含まれています。

法令上要求される開示物は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典第 1.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) 一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。

2010 年度第 4 四半期のコア事業の業績

(単位：百万ユーロ)	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
営業収益	5,910	1,651	2,688	10,249	71	10,320
対前年同期比	+5.4%	+13.8%	+10.2%	+7.9%	-87.3%	+2.6%
対前四半期比	+0.2%	+8.0%	-6.4%	-0.5%	-87.3%	-4.9%
営業費用および減価償却費	-3,730	-1,163	-1,552	-6,445	-442	-6,887
対前年同期比	+4.6%	+11.3%	+15.0%	+8.1%	n.s.	+12.2%
対前四半期比	+4.4%	+6.6%	+0.4%	+3.8%	+7.5%	+4.0%
営業総利益	2,180	488	1,136	3,804	-371	3,433
対前年同期比	+6.7%	+20.2%	+4.1%	+7.5%	n.s.	-12.4%
対前四半期比	-6.2%	+11.4%	-14.4%	-7.0%	n.s.	-19.0%
リスク費用	-1,123	-3	-91	-1,217	55	-1,162
対前年同期比	-30.1%	-83.3%	-61.1%	-34.5%	n.s.	-38.8%
対前四半期比	-0.5%	n.s.	+18.2%	+2.4%	n.s.	-4.9%
営業利益	1,057	485	1,045	2,587	-316	2,271
対前年同期比	n.s.	+25.0%	+21.9%	+53.8%	n.s.	+12.3%
対前四半期比	-11.5%	+6.4%	-16.4%	-10.8%	n.s.	-24.7%
関連会社損益	19	56	23	98	-9	89
その他の営業外項目	-3	6	3	6	-13	-7
税引前利益	1,073	547	1,071	2,691	-338	2,353
対前年同期比	n.s.	+40.6%	+23.1%	+57.5%	n.s.	+12.3%
対前四半期比	-12.8%	+10.5%	-14.9%	-9.8%	n.s.	-25.3%

(単位：百万ユーロ)	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
営業収益	5,910	1,651	2,688	10,249	71	10,320
前年同期	5,609	1,451	2,440	9,500	558	10,058
前四半期	5,896	1,529	2,873	10,298	558	10,856
営業費用および減価償却費	-3,730	-1,163	-1,552	-6,445	-442	-6,887
前年同期	-3,566	-1,045	-1,349	-5,960	-177	-6,137
前四半期	-3,572	-1,091	-1,546	-6,209	-411	-6,620
営業総利益	2,180	488	1,136	3,804	-371	3,433
前年同期	2,043	406	1,091	3,540	381	3,921
前四半期	2,324	438	1,327	4,089	147	4,236
リスク費用	-1,123	-3	-91	-1,217	55	-1,162
前年同期	-1,606	-18	-234	-1,858	-40	-1,898
前四半期	-1,129	18	-77	-1,188	-34	-1,222
営業利益	1,057	485	1,045	2,587	-316	2,271
前年同期	437	388	857	1,682	341	2,023
前四半期	1,195	456	1,250	2,901	113	3,014
関連会社損益	19	56	23	98	-9	89
前年同期	18	6	18	42	32	74
前四半期	26	7	12	45	40	85
その他の営業外項目	-3	6	3	6	-13	-7
前年同期	-5	-5	-5	-15	13	-2
前四半期	10	32	-3	39	13	52
税引前利益	1,073	547	1,071	2,691	-338	2,353
前年同期	450	389	870	1,709	386	2,095
前四半期	1,231	495	1,259	2,985	166	3,151
法人税						-469
少数株主帰属純利益						-334
株主帰属純利益						1,550

2010 年度のコア事業の業績

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	23,603	6,163	11,998	41,764	2,116	43,880
対前年同期比	+14.0%	+14.9%	-11.1%	+5.6%	n.s.	+9.2%
営業費用および減価償却費	-14,319	-4,365	-6,442	-25,126	-1,391	-26,517
対前年同期比	+13.3%	+13.8%	+4.3%	+10.9%	n.s.	+13.6%
営業総利益	9,284	1,798	5,556	16,638	725	17,363
対前年同期比	+15.2%	+17.7%	-24.1%	-1.6%	n.s.	+3.0%
リスク費用	-4,582	16	-314	-4,880	78	-4,802
対前年同期比	-21.6%	n.s.	-87.3%	-41.6%	n.s.	-42.6%
営業利益	4,702	1,814	5,242	11,758	803	12,561
対前年同期比	n.s.	+22.0%	+8.1%	+37.5%	n.s.	+48.1%
関連会社損益	87	106	44	237	31	268
その他の営業外項目	18	62	19	99	92	191
税引前利益	4,807	1,982	5,305	12,094	926	13,020
対前年同期比	n.s.	+35.5%	+9.0%	+40.0%	n.s.	+44.7%
法人税						-3,856
少数株主帰属純利益						-1,321
株主帰属純利益						7,843
年率換算株主資本純利益率						12.3%

四半期決算

(単位：百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
グループ事業								
営業収益	9,477	9,993	10,663	10,058	11,530	11,174	10,856	10,320
営業費用および減価償却費	-5,348	-5,818	-6,037	-6,137	-6,596	-6,414	-6,620	-6,887
営業総利益	4,129	4,175	4,626	3,921	4,934	4,760	4,236	3,433
リスク費用	-1,826	-2,345	-2,300	-1,898	-1,337	-1,081	-1,222	-1,162
営業利益	2,303	1,830	2,326	2,023	3,597	3,679	3,014	2,271
関連会社損益	-16	59	61	74	68	26	85	89
その他の営業外項目	3	281	58	-2	175	-29	52	-7
税引前利益	2,290	2,170	2,445	2,095	3,840	3,676	3,151	2,353
法人税	-658	-376	-918	-574	-1,188	-1,248	-951	-469
少数株主帰属純利益	-74	-190	-222	-156	-369	-323	-295	-334
株主帰属純利益	1,558	1,604	1,305	1,365	2,283	2,105	1,905	1,550
営業収益対コスト比率	56.4%	58.2%	56.6%	61.0%	57.2%	57.4%	61.0%	66.7%

(単位：百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む*)								
営業収益	1,598	1,621	1,638	1,613	1,749	1,726	1,696	1,681
うち受取利息純額	934	945	945	921	1,015	1,006	987	971
うち手数料	664	676	693	692	734	720	709	710
営業費用および減価償却費	-1,021	-1,054	-1,140	-1,152	-1,091	-1,109	-1,163	-1,178
営業総利益	577	567	498	461	658	617	533	503
リスク費用	-93	-142	-128	-155	-122	-116	-107	-139
営業利益	484	425	370	306	536	501	426	364
営業外損益	1	0	0	0	0	0	1	0
税引前利益	485	425	370	306	536	501	427	364
資産運用および証券管理事業帰属利益	-25	-25	-25	-27	-33	-28	-28	-29
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	460	400	345	279	503	473	399	335
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	5.4	5.6	5.6	5.6	5.8	5.8	5.8	5.8

(単位：百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
PEL/CELの影響を除くフランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む*)								
営業収益	1,602	1,635	1,659	1,645	1,753	1,732	1,709	1,683
うち受取利息純額	938	959	966	953	1,019	1,012	1,000	973
うち手数料	664	676	693	692	734	720	709	710
営業費用および減価償却費	-1,021	-1,054	-1,140	-1,152	-1,091	-1,109	-1,163	-1,178
営業総利益	581	581	519	493	662	623	546	505
リスク費用	-93	-142	-128	-155	-122	-116	-107	-139
営業利益	488	439	391	338	540	507	439	366
営業外損益	1	0	0	0	0	0	1	0
税引前利益	489	439	391	338	540	507	440	366
資産運用および証券管理事業帰属利益	-25	-25	-25	-27	-33	-28	-28	-29
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	464	414	366	311	507	479	412	337
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	5.4	5.6	5.6	5.6	5.8	5.8	5.8	5.8

(単位：百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)								
営業収益	1,545	1,566	1,580	1,556	1,685	1,665	1,637	1,622
営業費用および減価償却費	-993	-1,025	-1,108	-1,123	-1,060	-1,078	-1,133	-1,147
営業総利益	552	541	472	433	625	587	504	475
リスク費用	-93	-141	-127	-154	-122	-114	-106	-140
営業利益	459	400	345	279	503	473	398	335
営業外損益	1	0	0	0	0	0	1	0
税引前利益	460	400	345	279	503	473	399	335
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	5.3	5.5	5.6	5.6	5.8	5.8	5.8	5.8

**税引前利益の計算には、プライベート・バンキングの100%を含む


BNP PARIBAS

(単位：百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
BNL バンカ・コメルシアレ (イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む*)								
営業収益	727	741	760	775	759	755	765	781
営業費用および減価償却費	-426	-445	-442	-488	-433	-443	-438	-484
営業総利益	301	296	318	287	326	312	327	297
リスク費用	-115	-165	-185	-206	-200	-205	-209	-203
営業利益	186	131	133	81	126	107	118	94
営業外損益	0	1	0	-1	0	-2	0	0
税引前利益	186	132	133	80	126	105	118	94
資産運用および証券管理事業帰属利益	0	-2	-3	-2	-3	-2	-3	-3
BNL bc の税引前利益	186	130	130	78	123	103	115	91
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	4.4	4.5	4.6	4.6	4.8	4.8	4.8	4.8

(単位：百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
BNL バンカ・コメルシアレ (イタリア国内プライベート・バンキングの 3分の2を含む)								
営業収益	722	734	753	766	751	746	757	772
営業費用および減価償却費	-421	-441	-437	-481	-428	-436	-434	-478
営業総利益	301	293	316	285	323	310	323	294
リスク費用	-115	-164	-186	-206	-200	-205	-208	-204
営業利益	186	129	130	79	123	105	115	90
営業外損益	0	1	0	-1	0	-2	0	1
税引前利益	186	130	130	78	123	103	115	91
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	4.4	4.5	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8

(単位：百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
BeLux リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む*)								
営業収益	0	402	810	799	864	836	837	840
営業費用および減価償却費	0	-309	-568	-610	-598	-599	-581	-631
営業総利益	0	93	242	189	266	237	256	209
リスク費用	0	-111	-168	-74	-15	-66	-71	-67
営業利益	0	-18	74	115	251	171	185	142
関連会社損益	0	1	1	-1	0	3	2	-6
その他の営業外項目	0	1	1	-7	2	0	3	-1
税引前利益	0	-16	76	107	253	174	190	135
資産運用および証券管理事業帰属利益	0	-10	-11	-15	-18	-18	-12	-16
BeLux の税引前利益	0	-26	65	92	235	156	178	119
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	0.0	0.8	1.6	1.9	2.8	2.8	2.8	2.8

(単位：百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
BeLux リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 3分の2を含む)								
営業収益	0	383	782	766	831	804	807	808
営業費用および減価償却費	0	-300	-551	-593	-582	-585	-564	-612
営業総利益	0	83	231	173	249	219	243	196
リスク費用	0	-111	-168	-73	-16	-66	-70	-70
営業利益	0	-28	63	100	233	153	173	126
関連会社損益	0	1	1	-1	0	3	2	-6
その他の営業外項目	0	1	1	-7	2	0	3	-1
税引前利益	0	-26	65	92	235	156	178	119
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	0.0	0.8	1.6	1.9	2.8	2.8	2.8	2.8

*税引前利益の計算には、プライベート・バンキングの 100%を含む


BNP PARIBAS

(単位：百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
欧州・地中海沿岸諸国								
営業収益	429	468	452	498	454	463	463	498
営業費用および減価償却費	-236	-286	-333	-339	-330	-350	-354	-367
営業総利益	193	182	119	159	124	113	109	131
リスク費用	-162	-218	-234	-255	-89	-92	-89	-122
営業利益	31	-36	-115	-96	35	21	20	9
関連会社損益	6	-4	4	6	12	-1	3	6
その他の営業外項目	0	1	0	-1	-3	0	4	-2
税引前利益	37	-39	-111	-91	44	20	27	13
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	2.6	2.8	2.9	2.9	2.6	2.7	2.8	2.8
（単位：百万ユーロ）								
バンクウェスト								
営業収益	561	552	549	500	533	601	599	551
営業費用および減価償却費	-309	-316	-267	-275	-288	-322	-320	-320
営業総利益	252	236	282	225	245	279	279	231
リスク費用	-279	-299	-342	-275	-150	-127	-113	-75
営業利益	-27	-63	-60	-50	95	152	166	156
営業外項目	1	1	0	1	1	1	2	0
税引前利益	-26	-62	-60	-49	96	153	168	156
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	3.1	3.3	3.3	3.2	3.1	3.2	3.3	3.2
（単位：百万ユーロ）								
パーソナル・ファイナンス								
営業収益	1,026	1,064	1,103	1,147	1,261	1,250	1,256	1,283
営業費用および減価償却費	-508	-509	-493	-558	-576	-592	-563	-593
営業総利益	518	555	610	589	685	658	693	690
リスク費用	-415	-462	-513	-548	-524	-488	-469	-440
営業利益	103	93	97	41	161	170	224	250
関連会社損益	14	19	15	13	13	21	21	22
その他の営業外項目	1	26	-1	5	7	5	-1	0
税引前利益	118	138	111	59	181	196	244	272
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	3.3	3.4	3.5	3.5	3.8	3.8	3.9	3.9
（単位：百万ユーロ）								
エクイップメント・ソリューション								
営業収益	197	291	336	376	357	396	377	376
営業費用および減価償却費	-166	-181	-196	-197	-195	-195	-204	-213
営業総利益	31	110	140	179	162	201	173	163
リスク費用	-47	-77	-88	-95	-65	-72	-74	-72
営業利益	-16	33	52	84	97	129	99	91
関連会社損益	-4	-3	4	0	-4	-2	-1	-3
その他の営業外項目	0	0	0	-2	2	-2	2	-1
税引前利益	-20	30	56	82	95	125	100	87
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	1.7	1.9	2.0	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1

(単位：百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
資産運用および証券管理								
営業収益	1,146	1,330	1,436	1,451	1,444	1,539	1,529	1,651
営業費用および減価償却費	-820	-941	-1,029	-1,045	-1,023	-1,088	-1,091	-1,163
営業総利益	326	389	407	406	421	451	438	488
リスク費用	-12	-24	13	-18	-2	3	18	-3
営業利益	314	365	420	388	419	454	456	485
関連会社損益	-9	21	-7	6	26	17	7	56
その他の営業外項目	-4	-28	2	-5	22	2	32	6
税引前利益	301	358	415	389	467	473	495	547
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	5.0	5.5	5.8	5.9	6.2	6.3	6.3	6.4
(単位：百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
資産管理（富裕層向け資産運用業務）								
営業収益	546	721	833	835	812	833	834	905
営業費用および減価償却費	-418	-519	-607	-611	-587	-616	-618	-656
営業総利益	128	202	226	224	225	217	216	249
リスク費用	-4	-23	-7	-18	1	5	21	-8
営業利益	124	179	219	206	226	222	237	241
関連会社損益	-2	7	-2	-7	5	4	3	17
その他の営業外項目	-4	-2	2	-6	23	7	5	6
税引前利益	118	184	219	193	254	233	245	264
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	1.1	1.3	1.5	1.5	1.6	1.5	1.5	1.5
(単位：百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
保険								
営業収益	299	303	335	345	353	377	404	437
営業費用および減価償却費	-170	-181	-182	-192	-189	-214	-217	-235
営業総利益	129	122	153	153	164	163	187	202
リスク費用	-7	-2	17	0	-3	-2	-3	5
営業利益	122	120	170	153	161	161	184	207
関連会社損益	-7	13	-6	13	20	14	4	42
その他の営業外項目	0	-26	0	1	-1	-5	27	0
税引前利益	115	107	164	167	180	170	215	249
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	3.6	3.8	3.9	4.0	4.3	4.5	4.5	4.6
(単位：百万ユーロ)	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
証券管理								
営業収益	301	306	268	271	279	329	291	309
営業費用および減価償却費	-232	-241	-240	-242	-247	-258	-256	-272
営業総利益	69	65	28	29	32	71	35	37
リスク費用	-1	1	3	0	0	0	0	0
営業利益	68	66	31	29	32	71	35	37
営業外項目	0	1	1	0	1	-1	0	-3
税引前利益	68	67	32	29	33	70	35	34
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3


BNP PARIBAS

(単位：百万ユーロ)

コーポレートバンキング・投資銀行

	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
営業収益	3,728	3,851	3,478	2,440	3,752	2,685	2,873	2,688
営業費用および減価償却費	-1,772	-1,635	-1,418	-1,349	-1,859	-1,485	-1,546	-1,552
営業総利益	1,956	2,216	2,060	1,091	1,893	1,200	1,327	1,136
リスク費用	-697	-844	-698	-234	-207	61	-77	-91
営業利益	1,259	1,372	1,362	857	1,686	1,261	1,250	1,045
関連会社損益	-2	4	1	18	5	4	12	23
その他の営業外項目	2	3	-5	-5	6	13	-3	3
税引前利益	1,259	1,379	1,358	870	1,697	1,278	1,259	1,071
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	13.4	15.2	15.3	15.1	14.3	14.1	14.1	13.9

(単位：百万ユーロ)

	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
アドバイザリーおよびキャピタル・マーケット								
営業収益	2,931	3,039	2,571	1,380	2,719	1,526	1,733	1,652
営業費用および減価償却費	-1,484	-1,281	-997	-985	-1,460	-1,053	-1,129	-1,118
営業総利益	1,447	1,758	1,574	395	1,259	473	604	534
リスク費用	-277	-304	-273	-86	-127	-57	-80	-43
営業利益	1,170	1,454	1,301	309	1,132	416	524	491
関連会社損益	-2	0	2	1	1	0	2	-2
その他の営業外項目	2	5	-7	-3	7	12	-8	2
税引前利益	1,170	1,459	1,296	307	1,140	428	518	491
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	6.2	7.0	7.0	6.8	6.1	5.9	5.9	5.8

(単位：百万ユーロ)

	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
ファイナンス業務								
営業収益	797	812	907	1,060	1,033	1,159	1,140	1,036
営業費用および減価償却費	-288	-354	-421	-364	-399	-432	-417	-434
営業総利益	509	458	486	696	634	727	723	602
リスク費用	-420	-540	-425	-148	-80	118	3	-48
営業利益	89	-82	61	548	554	845	726	554
営業外項目	0	2	1	15	3	5	15	26
税引前利益	89	-80	62	563	557	850	741	580
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	7.2	8.2	8.3	8.3	8.2	8.2	8.2	8.1

(単位：百万ユーロ)

	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10
コーポレート・センター（BNPパリバ・キャピタルおよびクレピエールを含む）								
営業収益	123	-246	194	558	462	1,025	558	71
営業費用および減価償却費	-123	-184	-205	-177	-255	-283	-411	-442
うち事業再構築費用	-5	-20	-33	-115	-143	-180	-176	-281
営業総利益	0	-430	-11	381	207	742	147	-371
リスク費用	-6	-5	43	-40	38	19	-34	55
営業利益	-6	-435	32	341	245	761	113	-316
関連会社損益	-22	21	43	32	16	-16	40	-9
その他の営業外項目	3	276	61	13	138	-46	13	-13
税引前利益	-25	-138	136	386	399	699	166	-338

株主帰属純利益 78 億ユーロ	2
全ての業務部門における好調な業績	3
リテール・バンキング事業	3
資産運用および証券管理事業	8
コーポレートバンキング・投資銀行 (CIB) 事業	10
コーポレート・センター	11
高いソルベンシーおよび多様な資金調達源へのアクセス	12
連結損益計算書	14
2010 年度第 4 四半期のコア事業の業績	15
2010 年度のコア事業の業績	16
四半期決算	17

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2010 年 4 月 19 日に、BNP パリバは、2009 年度決算における事業部門の決算修正を発表しました。かかる修正には、BNP パリバ・フォルティスの業務を当グループの複数事業部門および業務部署に照らして分解し、事業部門間で業務を移管し、さらに、自己資本の配分をリスク加重資産の 6% から 7% へと高めた事実を反映しています。同様に、本プレゼンテーションにおいて、2009 年度決算および取引高に関わる数値は、次のように遡及修正されています。すなわち、BNP パリバ・フォルティスによる寄与は連結当初の 2009 年 5 月 12 日から初めて効力を生じたものの、あたかも 2009 年 1 月 1 日に取引が実行されたかのように修正されています。2010 年度業績を 2009 年度業績と比較するにあたり、「連結範囲変更の影響を除外」した増減率の計算において、BNP パリバ・フォルティスの 2009 年度プロフォーマ・ベースの数値を BNP パリバの同期間の数値に加算し、その合計額と 2010 年度の数値を比較しました。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積もりおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新しい情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。

本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。